

入院診療計画書(膵頭十二指腸切除術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME 様

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

病名(他に考える病名)

症状

担当医師 @USERNAME 印

担当看護師

担当薬剤師

@SYSDATE

月日	入院日	術前日	手術日(/)		術翌日	術後3日~5日目	術後6~10日目	術後11日~20日目	退院日
	(/)	(/)	術前	術後	(/)	(/)~(/)	(/)~(/)	(/)~(/)	(/)
経過	入院や手術に関して不安があれば、遠慮なく相談してください	検査データを確認しながら、手術へむけて準備を行います。	()時に手術室へ移動します	術後はICUに入室します	注意点を守りながら、少しずつ、日常生活のリズムを戻していきましょう	医師の指示のもとに水分開始になります	医師の指示のもとに食事開始になります		退院
目標	手術への準備ができています。安心して手術に臨むことができます。	術前日の流れ / ()時~絶飲食	朝起きてから手術に行くまで	術後合併症が発症しない。痛みのコントロールができる。	一般病棟へもどることができ。水分摂取を開始できる。				外来受診について定期受診は必ず行なうようにしましょう。
検査	手術に必要な検査をします	□おへその周りの毛があれば処理します おへそのそうじをします	□麻酔科医師の指示の内服薬があれば服用してください	術後はICUへ入室します	採血・レントゲン写真 食事が摂取できるようになるまで決まった時間に血糖を測ります	必要に応じて採血・レントゲン写真	採血・レントゲン写真 必要に応じて透視の検査		
処置	基本的に処置はありません 禁煙してください!!	□入浴 □腕に名前を書きます(医師) □準備品の確認をします □21時 下剤を内服します(21時以降水分は控えて下さい)	□排便がなければ浣腸をします □前あきの下着、病院のパンツを着がえて下さい □弾性ストッキングをはいてください □化粧やマニキュアを落として下さい □入れ歯、メガネ、時計、ヘアピン、指輪などを外して下さい	痛いときは我慢せずに教えてください	ICUから一般病棟 痛み止めの管が抜けます 酸素はマスクが外れ鼻からの吸入に変わります 心電図モニターが外れます 胃の管が抜けます	食事摂取量に応じて、点滴を減らします。術後およそ10日目で点滴は終了の予定です。	手術時に入った管が抜けます	以下の症状があるときは、受診日以外でも来院してください。 ・腹痛がひどい時 ・便やおならがなく、お腹の張りが続いている時 ・嘔吐が続き、吐き気がひどい時 ・黒い便が出た時 ・高熱が出たり微熱が何日も続く時 わからない点、不安な点がありましたら、医師や看護師にご相談ください。	
注射	基本的に注射はありません	ご不安なときは、ポータブルトイレを用意します	ご不安なときは、ポータブルトイレを用意します			薬は正しく服用し、必ず指示通りに内服して下さい。下剤の内服については、便の回数や状態を見て調節して下さい。心配なときは医師に相談してください。			
内服	飲んでいるお薬はすべて看護師にお知らせください	普段飲んでいる薬は、術前日もいつもどおり飲んで下さい。中止薬があれば、説明します。							□次回受診まで、必要な分のお薬が処方されます
食事	入院日の食事制限はありません	術後許可が出るまで、飲んだり食べたりできません			水分開始 むせたり、吐いたりしないか確認しながら飲んでください	食事開始 食事の量に制限はありません。ご自分のペースで食べてください。	お粥ではなく、ご飯に変更することもできます	職場復帰、旅行などは医師にそらうしてください。	
清潔行動	活動、入浴に制限はありません。				シャワーの許可が出るまで体を拭きます	必要に応じて、ポータブルトイレや尿器を用意します。	ドレーンが抜けなくてもシャワーの許可がでる場合があります 傷の部分は、こすらず、シャワーで流す程度にしてください	入浴のときは... 熱いお湯は体の疲労を伴います。長湯にならないようにしましょう。	
リハビリ	スーフル呼吸訓練行って下さい		麻酔から覚めたら深呼吸をしてください 血栓予防に足の底背屈運動を行ってください。 つま先を顔の方へ向ける つま先を伸ばす		術翌日 日中はできるだけ起きてみましょう できれば足を垂らして座ってみましょう	術後2日目 立ちましょう 足ぶみしましょう	術後3日目~ スーフル呼吸訓練も行って下さい 病棟歩行を毎日行いましょう		
説明	病棟での日常生活をご案内します 手術の予定を説明します	麻酔科医師と、手術室の看護師の訪問があります	ご家族の方へ病棟フロアロビーでお待ちください 離れるときは、待機場所をお知らせください		点滴や尿管、ドレーンが抜けていないので、座るときは看護師を呼んでください	初めて歩行する時は、看護師が付き添います。術後早期に歩き始めた方が、回復も早くなります。	□栄養指導を行います	□次回予約票を渡します □リフトをを外します	

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を踏まえて変更がなされていく場合があります。

注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名:

続柄:

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無